

活かされたか 平成19年度決算を認定

あたりの
借金
113,000円
673,000円

46億354万2千円
274億1,166万3千円
平成20年3月末現在の
で各総額を割った額。

○財政力の推移

	17年度	18年度	19年度
財政力指数	0.273	0.293	0.305
実質収支比率	3.9	6.1	4.2
経常収支比率	97.5	89.1	90.4
公債費比率	21.0	17.5	16.2

～一般会計への審査意見～

一般会計の決算審査は、予算の執行状況、成果等を審査しました。

①財政力指数

行政の仕事を行うのに必要な費用を自前で調達できるかを示す費用のこと。1.0に近づくほど望ましいとされています。

曾於市は、0.305で一層の努力が必要です。

②実質収支比率

実質収支額を標準財政規模で割ったもので、3%から5%が望ましいとされています。

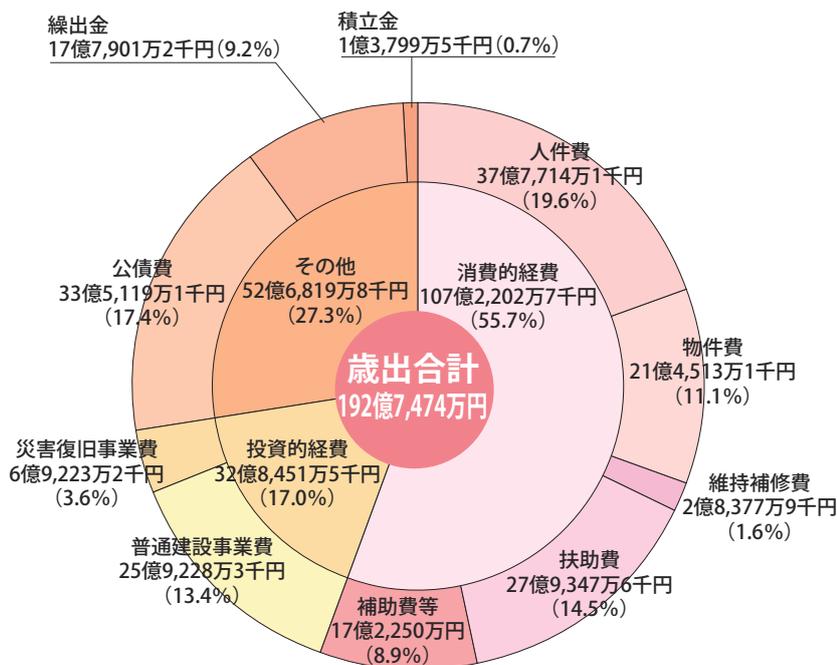
19年度は、4.2%で、数値の範囲内で計画的な財政運営でした。

③経常収支比率

人件費などの経常経費が一般財源にどの程度占めるかで財政の弾力性を示し、75%以下が望まれます。19年度は90.4%、18年度は89.1%だったので改善に向けて努力すべきです。

④公債費比率

一般財源に占める公債費（借金）の割合で、10%を超えないことが望ましいとされます。19年度は16.2%、18年度は17.5%だったので、13%改善されてはいますが、引き続き努力すべきです。



歳出関連用語解説

消費的経費

市政を運営するために毎年必ず確保しなければならないお金。
(家庭で考えると、食費や光熱水費、交通費など)

投資的経費

建物、道路等建設に関する経費。毎年規模や額は変わる。
(家庭で考えると、地デジなどのテレビ購入、家の増築など)

その他

市債（借金）の元金や利息の返金、特別会計運営のための支援など。
(家庭で考えると、家や車代のローン返済金、貯金の積立など。)

公債費

市債（借金）返済のためのお金。

扶助費

高齢者・障がい者等に対する援助費等福祉及び教育支援経費など。

まちづくりはどう

歳出総額371億円の

10月15日の第1回臨時議会において、提出された一般会計・特別会計（5件）の決算は、各常任委員会に付託され、執行部より提出された資料に基づいて審査を行い、11月10日臨時議会において全会一致及び賛成多数で全ての会計を認定致しました。

市民一人 貯金と

貯金 借金

基金（貯金）総額
市債（借金）総額

※一人あたりの金額は、
推計人口40,688人

平成19年度 会計別決算状況 (千円以下切り捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	
一般会計	198億3,601万円	192億7,473万円	
特別会計	国民健康保険	60億6,460万円	59億9,362万円
	老人保険	65億5,130万円	65億2,335万円
	介護保険	41億5,929万円	39億493万円
	公共下水道事業	4億4,830万円	4億4,322万円
	生活排水処理事業	8,794万円	8,718万円

歳入関連用語解説

自主財源

市税を始め、使用料や手数料など市が自主的に収入する財源のこと。
(家庭で考えると、給料や土地等の支払収入など)

依存財源

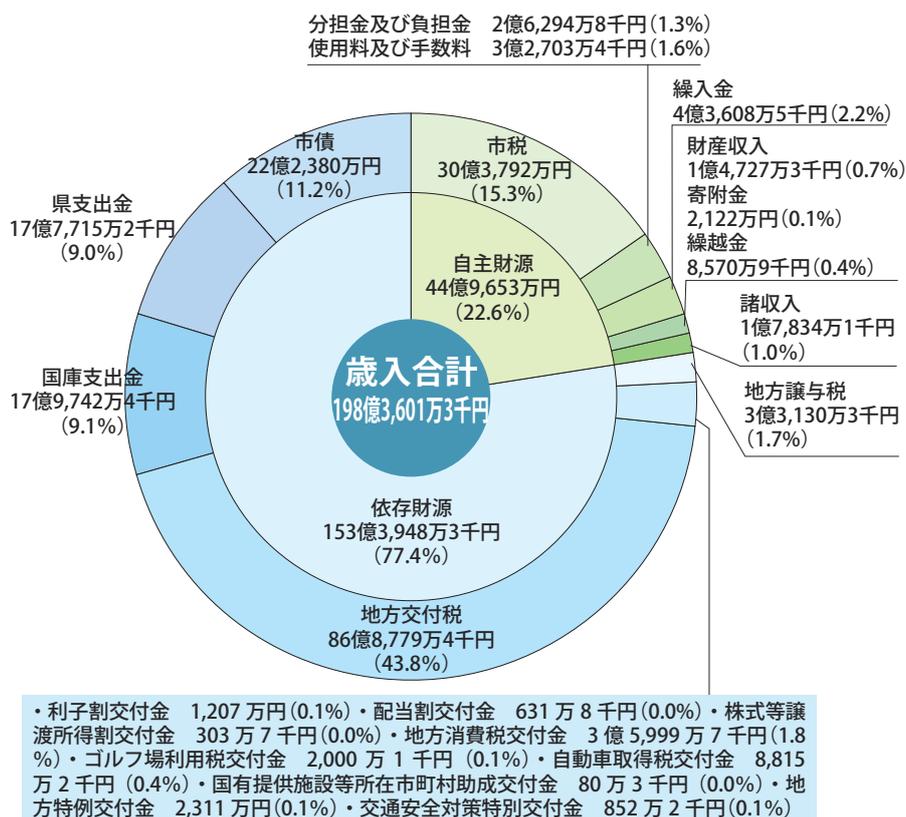
地方交付税や国・県支出金など国や県から交付される財源のこと。
(家庭で考えると、家や車代のローン、児童手当等の市や国からの支援、農業等への国からの補助金のこと)

地方交付税

所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金。

市債

市の借金のこと。大きな事業を行うため国や金融機関から借り入れるお金。



● 決算審査・各委員会では… ●

総務委員会

- 思いやりタクシーの利用者増をめざせ
- 職員の意識改革と綱紀粛正を

文教厚生委員会

- クリーンセンターの計画的な改修を
- 子育て支援の充実を

建設経済委員会

- 土壌診断の充実・推進を
- 畜産振興基金貸付事業の拡大を

末吉中学校普通教室棟の改築

文部科学省の補助を受け、19年度から20年度の2カ年で完成しました。



土壌診断を積極的に

現在、診断15項目を無料で行っています。今後は、農業経営の安定のために、診断を積極的に取り組むことが必要と意見が出されました。



畜産振興基金の拡大を

1戸あたりの貸付頭数枠を拡大することで、本市の畜産振興対策になると意見が出ました。



子育て支援対策の強化を

少子化対策の一環として、第3子以降の出産祝金を第1子・第2子、第3子の祝い金増額への意見がでました。

